

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	教育総務課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	2.子育て・子育て支援と教育学習環境の充実				
分野別方針	(7)教育環境の整備推進		実施計画事業	1)教育相談・支援事業(No.19)				
予算等事業名	教育相談・教育支援室事業							
目的	心の悩みのために学校に行けない、行かない児童生徒への支援・指導を行い、原籍校への復帰を図る。							
内容	電話や来訪による教育相談。 教育支援室での通室生の支援・指導。							
根拠法令・条例等	二宮町教育研究所設置条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	電話相談を214件、来室相談を208件、訪問相談を260件実施した(いずれも延べ件数)。また、小学生1名、中学生8名(仮通室3名含む)の通室を受け入れた。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	心理教育相談員による学校への年間の巡回相談回数				
前期(27年度)目標値	20回(5校合計)			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度より随時訪問に加え、心理教育相談員が定期的に各校を訪問し、学校との連携を深めることとした。各校ごとに1学期に1回、2学期に2回、3学期に1回巡回する。	
	—				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,557	5,247				
財源内訳	一般財源	5,557	5,247				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町教委の教育活動にかかる事業のため、公費の投入が必要。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 設置者として、事業の執行管理と学校間の連絡調整等を行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 専任教諭や心理教育相談員等、充実したスタッフにより、教育相談等に対応できた。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 事業内容の面から、適切な経費であった。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 専任教諭と心理教育相談員等が連携し、充実した相談体制を築くことができた。また、学校と連携して、不登校児童・生徒の原籍校復帰へ向けた方向性を検討することができた。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	◎予防的観点から、26年度より心理教育相談員が年4回程度、各校への巡回訪問を行う。 ◎町子ども育成課、福祉課、及び新規開設となった平塚児童相談所等、関係機関との連携強化を図る。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	巡回訪問等の新たな取組みにも着手し、相談ケースについても適切な対応ができています。		
今後の方向性	継続。		